News Release

あしたを、つなぐ
野村不動産グループ

報道関係者各位

2026 年 11 月 27 日
野村不動産ソリューションズ株式会社

リリースカテゴリー：仲介・CRE

「野村の仲介プラス」 上目黒の街で約 66 年親しまれてきた銭湯を未来へつなぐ

― 地域に根づく銭湯を、銭湯のまま次の担い手へ ―

本ニュースリリースのポイント

1. 約 66 年にわたり上目黒で親しまれてきた銭湯「大黒湯」が、「堀田湯　上目黒」として新たにスタート
2. 当社のリサーチ・コンサルティング機能と金融機関とのネットワークを活かし、大黒湯前当主の想いを汲んだ不動産取引を当社が仲介

野村不動産ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：日比野勇志、以下「当社」）は、東京都目黒区上目黒で約 66 年にわたり地域に親しまれてきた銭湯「大黒湯」に関する不動産取引を仲介しました。本取引を通じて、大黒湯は新たな担い手に引き継がれ、既存建物の歴史や面影を活かした「堀田湯　上目黒」として 2027 年 2 月 14 日に開業予定です。

「大黒湯」が銭湯のまま次の世代へつながることで、地域資産の持続的な活用にも寄与するとともに、銭湯を大切にする地域の方々の暮らしにも貢献するものと考えています。当社は今後も、不動産にまつわるお客さまそれぞれの事情や想いに寄り添い、その実現に向けた不動産取引をサポートしてまいります。



約 66 年にわたり上目黒で地域に親しまれてきた「大黒湯」（改修前）

1.　本取り組みの背景

「大黒湯」は、約 66 年にわたり上目黒で営業し、地域の方々に親しまれてきた銭湯です。今般、大黒湯としての営業を終えることとなりましたが、前当主には、営業終了後もこの場所を銭湯として残したいという想いがありました。

本件のきっかけは、当社が築いてきた金融機関とのネットワークを通じて、大黒湯前当主の紹介を受けたことです。

当社は、リサーチ・コンサルティング部門が有する不動産に関する知見や情報を最大限に活かし、不動産の活用に関する複数の選択肢を提示しました。対話を重ねる中で、前当主の事情や想いをお聞きし、経済的なメリットだけではなく、社会インフラとしての銭湯を残したいという想いを確認。豊富な経験と運営実績を持つ株式会社堀田湯に既存建物を活用した銭湯の運営について相談し、同社の検討を経て、当社は、前当主の想いと同社の意向を踏まえ、両者の間で取引条件などを調整し、不動産取引を仲介しました。

2.　「大黒湯」から「堀田湯　上目黒」へ

株式会社堀田湯は、大黒湯が長年培ってきた歴史や面影を活かしながら既存建物を改修し、「堀田湯　上目黒」として開業予定です。



大黒湯の歴史や面影を活かしながら改修を進める「堀田湯　上目黒」

3.　関係者コメント



株式会社堀田湯　代表取締役　堀田和宣氏（左）、当社　代表取締役社長　日比野勇志（右）

・野村不動産ソリューションズ株式会社　代表取締役社長　日比野勇志

後継者不足や設備の老朽化により、閉業後に建物が取り壊され、別の用途へと役割を変える銭湯も少なくありません。そうしたなかで、約 66 年にわたり地域に愛されてきた大黒湯を、銭湯のまま次の担い手へおつなぎできたことを大変うれしく思います。不動産の仕事を通じて、「日本の銭湯の灯を絶やさない。」そのような取り組みに携われたことを誇りに感じています。

・株式会社堀田湯　代表取締役　堀田和宣氏

大黒湯には、長い時間をかけて街の人たちが育ててきた風景があります。その記憶を大切にしながら、これからも銭湯として続けていける形をつくりたいと思っています。銭湯は、ただお風呂に入るだけの場所ではなく、街の人が行き交い、顔を合わせる場所です。堀田湯　西新井で大切にしてきた「この街を、温める。」という思いのもと、幸田さんが守ってこられた灯を大切に受け継ぎ、地域の皆さまとともに、堀田湯　上目黒を育ててまいります。

・大黒湯　前当主　幸田栄一氏

大黒湯に長く通ってくださった皆さまに、心から感謝しています。この場所で、これからも銭湯の暖簾がかかり続けることをうれしく思います。新しい堀田湯　上目黒も、街の皆さまに親しんでいただけたら幸いです。

4.　「堀田湯　上目黒」 施設概要

施設名	堀田湯　上目黒（ほったゆ　かみめぐろ）
開業日	2027 年 2 月 14 日（予定）
所在地	東京都目黒区上目黒４丁目 25－10
アクセス	東急東横線・東京メトロ日比谷線「中目黒」駅から徒歩　13　分／東急東横線「祐天寺」駅から徒歩８分
営業時間	平日 15：00～25：00／土日祝８：00～25：00　※木曜日定休
公式ウェブサイト	https://hottayu.com/

【ご参考】

当社は、2026 年 4 月 1 日付で、仲介・CRE※1 の 3 事業（流通事業本部・パートナー営業本部・法人営業本部）を「野村の仲介プラス」ブランドとして統一し、ブランドタグライン※2 に「その期待に、プラスを。」を策定しました。

お客さまの人生や企業活動、資産運用において重要な意味を持つ、不動産の所有や売却に関わる企業として、お客さまの「期待に応える」のはもちろんのこと、その「期待を超える」提案やサービスを提供できる存在でありたい、という想いを込めています。

その期待に、プラスを。
野村の仲介＋ PLUS
【新ロゴマークとブランドタグライン】

ブランドアンバサダーには、多彩なキャリアを通じて常に「期待に、プラスを」しながら挑戦を重ねてきた唯一無二の存在である二宮和也さんを起用し、あらゆるお客さまの期待に「プラス」の価値を届ける新たな「野村の仲介プラス」のメッセージを今後も発信してまいります。

※1：Corporate Real Estate（企業不動産）の略称。

※2：「そのブランドがどのような存在で、どんな価値を約束するか」を短く表現したスローガン。

※ブランド統一に関するリリース内容の詳細はこちらをご確認ください。

※「野村の仲介プラス」サービスサイトはこちらをご確認ください。

【報道関係者様向けお問い合わせ窓口】
野村不動産ソリューションズ株式会社　経営企画部（担当：浅野・滝口）
TEL：03-6858-1709　MAIL：sl-cc@nomura-re.co.jp